

令和7年度 学校だより

かけはし

匝瑳市立八日市場小学校

12月号

No.8

<https://sosa-yokaichiba-es.net/index.html>

※HPIには、かけはしカラー版を掲載中です



冬休みに向けて

12月24日(水)から冬季休業に入ります。年末、年始に御家族と一緒に過ごす時間が増えることを子供たちも楽しみにしているようです。

御家庭によって年末、年始の過ごし方も様々かと思えます。ある御家庭は、特に日常と変わらない生活リズムで過ごされる場合もあるかと思えますし、家族が揃う機会が多くなる御家庭もあろうかと思えます。それぞれの御家庭にとっての年末、年始の中で、子供たちが様々な体験をしたり、ゆったりと過ごしたりすることで成長に繋がることと思えます。ぜひ、子供たちとの対話も楽しんでいただければと思います。

【裏面に『学校から発信する家庭教育支援プログラム(千葉県教育委員会)』の資料を掲載】

防災講演会

12月17日(水)、4年生と5年生の子供たちが八日市場地区社会福祉協議会主催による防災講演会に参加しました。講師は日本防災士会の皆様で、地震が起きた時にどのような行動をするかを考えるクロスロードゲーム、地震が起きた時のシェイクアウト訓練、AEDの操作実習等、非常時の対応について学びました。AEDの操作については、まず、人が倒れた場合に周囲の人々が協力して、救助する場面を映像で視聴し、AEDの大切さについて学びました。続いて、各グループに用意された心臓マッサージ用の人形に実際にマッサージをする演習を受講しました。

子供たちは、倒れた人を見付けた場合には助けを呼ぶこと、日頃からどこにAEDがあるかを知っておくことなどを学びました。



学校からのけがの連絡について

先週、学校でのけがの対応について、保護者の方から御意見をいただきました。そこで、子供たちがけがをした場合の応急処置、御家庭への連絡が正しく速やかにできるように校内で対応方法を再確認いたしました。特に首から頭にかけてのけがにつきましても、保護者に御相談の上、原則として医療機関の受診といたします。また、その他のけがにつきましても、状況に応じて医療機関の受診といたしますので御理解のほど、よろしくお願いいたします。

体調不良やけがの際に御家庭への電話連絡、医療機関の受診等、迅速な対応ができるよう努力してまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。

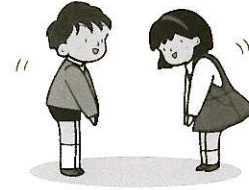
【1月の主な行事】

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 6日(火) 後期再開、午前日課(給食なし) | 22日(木) 短縮5時間日課 |
| 7日(水) 給食開始、短縮日課 | 23日(金) 短縮5時間日課 |
| 8日(木) 短縮日課 | 26日(月) 校内書き初め展 |
| 9日(金) 通常日課開始、2年生5時間 | (~30日) |
| 19日(月) 短縮日課 | |

1. 子どもとの会話や過ごし方

家庭は子どもにとって最も心安らぐ居場所です。そして、家族のあいだで交わされる温かい会話やだんらんを通して多くのことを学んでいきます。日頃から家族のコミュニケーションを大切にしましょう。

家族で会話をする機会を増やしましょう



まずは「あいさつ」から…気持ちのよいあいさつでお手本を

「おはよう」「いってらっしゃい」「ただいま」「おかえり」「おやすみ」など気持ちの良いあいさつは、家族の絆を深めます。

「いただきます」「ごちそうさま」「ありがとう」は感謝の気持ちを育てます。

「ごめんなさい」は素直な心を育てます。

あいさつは、人間関係を築く出発点です。親が自分からあいさつする姿を見せて、あいさつから受ける「気持ちよさ」や「うれしさ」を子どもに伝えていきましょう。

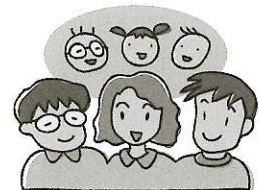
一日の出来事を聴いてあげていますか？

「うれしかったこと」「楽しかったこと」「いやだったこと」「くやしかったこと」など子どもの話を聴いてあげることで、安心して何でも話せる信頼関係を築くことができます。

子どもと一日の出来事を楽しく話すなど、家族の会話を増やすことで家族の絆が深まります。お互いに考えていることを話し合う時間を大切にしましょう。

親子でふれあう機会を増やしましょう

家族で過ごす時間を作っていますか？



忙しい毎日の中では、家族みんなで過ごす時間が少なくなりがちです。家族が一緒にいる時間をつくることで、夫婦や親子の会話が増え、コミュニケーションが深まります。また、一緒に家事をしたり、家族でできる何かに取り組んだりすることで、家族の一員として支え合っているということを実感します。

親子で一緒に遊ぶ、食事をする、お風呂に入るなど、普段の生活の中でできるだけ親子のふれあう時間を持つことを心がけましょう。時間は短くても、コミュニケーションをとることを意識しましょう。